

HULFT Squareアプリケーション仕様書

HRシステム
SmartHR

2.0版 | 2024年 2月 27日

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション Overview

本アプリケーションについて

本アプリケーションはSmartHRとのデータ連携を行うためのスクリプトのサンプルをアプリケーション化したものとなる

機能については機能一覧シートを参照

コピー後、状況に合わせてカスタマイズすることを推奨する

コピー後、編集なしでスクリプトを実行する場合は、実行前にスクリプトのビルド（デザイナー画面赤枠）を実施する



INDEX

Overview

- ・機能一覧

スクリプト利用手順

- ・設定フロー
- ・コネクション設定(SmartHR側)
- ・コネクション設定(HULFT Square側)
- ・スクリプト利用上注意

スクリプト詳細

- ・スクリプト設定 (alternate_input)
- ・スクリプト設定 (upsert_crews)
- ・スクリプト設定 (update_member_fluid)
- ・スクリプト設定 (patch_crew_cf)
- ・スクリプト設定 (get_custom_fields_pagination)

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
設定フロー

本アプリケーションの設定フロー

1. [コネクション設定(SmartHR側)]に沿って設定を行う
 - ・ SmartHRへのAPI接続設定を行い、SmartHRのAPIを利用可能にする
2. [コネクション設定(HULFT Square側)]に沿って設定を行う
 - ・ HULFT SquareからSmartHRへ接続するための設定を作成する
3. [スクリプト利用上注意]を参照し、スクリプト利用準備を行う
 - ・ スクリプトをセットアップし、利用可能にする

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション コネクション設定(SmartHR側)

コネクション設定

HULFT SquareとSmartHRの接続に必要な設定に関して記述する

SmartHR側設定(前提条件)

前提条件として、SmartHR側でAPIのリクエストを受け付けるための設定が完了していること
・アクセストークンが発行されていること

1. SmartHR共通設定の外部システム連携から「アクセストークン」を開く

外部システム連携

外部システムとの連携を管理できます。

API連携

項目	説明
アクセストークン	SmartHR API 🔗 を使用する際に必要な、アクセストークンを発行・編集できます。
Webhook	SmartHRで更新した情報を、指定されたURLに通知できます。
通知連携	SmartHRからの通知を、チャットツールに連携できます。 🔗 連携方法

2. 連携用のアクセストークンを追加する

アクセストークンの追加

アクセストークン名 必須

例) 社内勤怠システム連携用

メモ
アクセストークンの用途・説明などを入力できます。

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
コネクション設定(HULFT Square側)

コネクション設定

HULFT SquareとSmartHRの接続に必要な設定に関して記述する

HULFT Square側設定

APIリクエストを送信するための設定を作成する

リクエスト用コネクション設定

コネクタータイプ	REST接続
名前	任意
ワークスペース	任意
説明	任意
コネクタータイプ	REST接続
URL設定	https://<SmartHRのREST API URL>/api/
プロファイル	任意

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト利用上注意

利用について

- ・所属部署情報を登録および更新する場合、あらかじめSmartHR側で部署マスターデータを登録する
- ・カスタム項目の更新スクリプトを利用する場合、あらかじめSmartHR側でカスタム項目を作成する
- ・スクリプト「smarthr_update_fluid」を利用する場合、SmartHRのカスタム項目の一意IDを含めた指定のカラム構成のCSVを準備する
- ・スクリプト「smarthr_get_custom_fields_pagination」を2回以上実行する場合、リストCSVは削除する

SmartHRでのカスタム項目の作成方法について

1. SmartHR管理画面の共通設定からカスタム従業員項目を開き、カスタム項目グループを追加する



2. グループに項目を追加する



詳細はSmartHR ヘルプを参照

<https://support.smarthr.jp/ja/help/articles/360026265513/>

スクリプト「smarthr_update_member_fluid」の入力CSVについて

当スクリプトで読み込む更新元データのCSVは以下のようなフォーマットであること

社員番号	更新するSmartHRのカスタム項目ID	更新する内容
------	----------------------	--------

また、社員番号が同一のレコードは必ず連続すること

(ex.)

a0001	xxxxxxxxxxx	更新する内容
a0001	yyyyyyyyyyy	更新する内容
a0002	xxxxxxxxxxx	更新する内容
a0003	xxxxxxxxxxx	更新する内容

スクリプト「smarthr_get_custom_fields_pagination」の出力CSVについて

当スクリプトで出力されるCSVは追加書き込み設定となっているため、

2回目以降の実行前に前回出力したファイルは削除するか、出力ファイル名を変更する

[alternate_input]における対応表について

当スクリプトは外部データが持っているSmartHRに入れるべき値のコードをSmartHRのカスタム項目idに書き換えるものとなっている
入力のCSV構造規格は以下の通りを想定する

(入力CSV)

社員番号	項目コード	項目名	更新する内容
------	-------	-----	--------

当スクリプトでは2列目の[項目コード]を[kaonaviのカスタム項目id]に変換するため、以下のような対応表が必要になる

故に以下のような対応表[code_correspondece.csv]を指定のフォルダ(コンポーネント[read_correspondence]で指定されるファイル位置)に格納すること

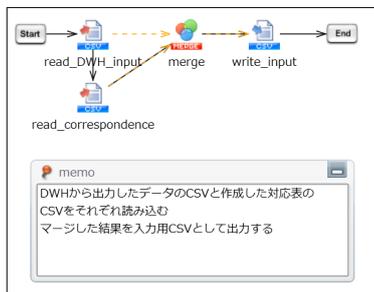
項目コード	SmartHRカスタム項目id
-------	-----------------

(ex.)

001	9996
002	9997
003	9998

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(alternate_input)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

DWHから出力したデータのCSVと作成した対応表のCSVをそれぞれ読み込む
マージした結果を入力用CSVとして出力する

*以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
格納プロジェクト名	
格納フォルダ名	
スクリプト名	smarthr_alternate_input

外部システムから取り込む値/ファイル

ファイル「DWH_input.csv」	項目「emp_code」「fase_code」「fase_name」「value」のリスト
ファイル「code_correspondence.csv」	項目「fase_code」「custom_field_id」のリスト

スクリプト変数

なし	なし
----	----

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
read_DWH_input	
コンポーネント概要	
DWHから出力したデータのCSVファイルの読み込み	
必須設定	
ファイル	/(利用するワークスペース名)/smarthr/DWH_input.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code, phase_code, phase_name, value
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	有効

コンポーネント名	
read_correspondence  read_correspondence	
コンポーネント概要	
作成した対応表CSVファイルの読み込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/code_correspondence.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	phase_code, custom_field_id
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	無効

コンポーネント名		
merge  merge		
コンポーネント概要		
読み込んだ経験情報CSVデータと対応表CSVデータをマージ		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/read_DWH_imput/table/row	And-Integrateマージ	出力データ/write_input/table/row
入力データ/read_DWH_imput/table/row/phase_code	And-Integrateマージ	
入力データ/read_correspondence/table/row	And-Integrateマージ	
入力データ/read_correspondence/table/row/phase_code	And-Integrateマージ	
入力データ/read_DWH_imput/table/row/emp_code	単純移送	出力データ/write_input/table/row/emp_code
入力データ/read_DWH_imput/table/row/phase_name	単純移送	出力データ/write_input/table/row/field_name
入力データ/read_DWH_imput/table/row/value	単純移送	出力データ/write_input/table/row/value
入力データ/read_correspondence/table/row/custom_field_id	単純移送	出力データ/write_input/table/row/custom_field_id

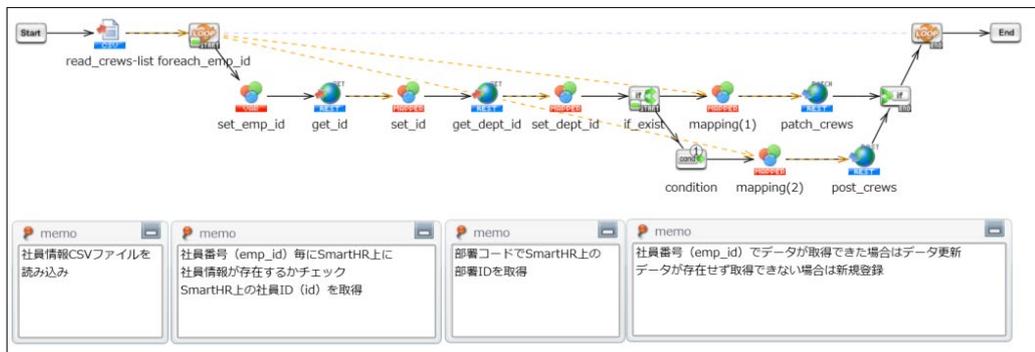
コンポーネント名	
write_input  write_input	
コンポーネント概要	
マージした結果をCSV書き込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/fluid_origin.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code, custom_field_id, field_name, value
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	有効
追加書き込み	無効
1行目に列名を挿入	無効
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定_SmartHR側」を設定します
2. 「コネクション設定_HULFT Square側」を設定します
3. 本アプリケーションをインストールします
6. ファイル「DWH_input.csv」「code_correspondence.csv」を準備、利用ストレージに配置
7. コンポーネント「read_DWH_input」「read_correspondence」の読み取りファイルを設定
8. スクリプトを実行する

**SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(upsert_crews)**

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

従業員情報が出力されたCSVファイルを読み込み、SmartHRに既に従業員情報がある場合は更新、ない場合は新規登録する

*以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
格納プロジェクト名	
格納フォルダ名	
スクリプト名	smarthr_upsert_crews

外部システムから取り込む値/ファイル

ファイル「employee_information.csv」	基幹システムから取得した社員情報のリスト
--------------------------------	----------------------

スクリプト変数

token	SmartHRから取得したアクセストークン
emp_id	ファイル「employee_information.csv」より取得
id	コンポーネント「get_id」より取得
total_count	コンポーネント「get_id」より取得
department_code	ファイル「employee_information.csv」より取得
department_id	コンポーネント「get_dept_id」より取得

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
read_crews-list	
.read_crews-list.	
コンポーネント概要	
社員情報のCSVファイルを読み込み	
必須設定	
ファイル	[/利用するワークスペース名]/smarthr/employee_information.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	社員番号,メールアドレス,社員名(姓),社員名(名),社員名(仮名)(姓),社員名(仮名)(名),戸籍上の性別,生年月日,年齢,在籍ステータス,雇用保険の被保険者番号,厚生年金保険の被保険者番号,健康保険の被保険者番号,基礎年金番号,事業部コード,事業部名,部門コード,部門名,課コード,課名,役職,入社年月日,退職年月日,郵便番号,住所1,住所2,住所3,電話番号,更新日,削除フラグ
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	有効

コンポーネント名		
foreach_emp_id 		
コンポーネント概要		
社員情報リストのデータ1件毎に繰り返し		
必須設定		
入力データ	read_crews-list	
1ループでの処理件数	1	

コンポーネント名		
set_emp_id 		
コンポーネント概要		
スクリプト変数emp_id, department_codeに従業員情報のデータを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
foreach_emp_id/table/row/社員番号	単純移送	スクリプト変数/emp_id
foreach_emp_id/table/row/課コード	単純移送	スクリプト変数/department_code

コンポーネント名		
get_id 		
コンポーネント概要		
社員番号が格納されたスクリプト変数emp_idをパラメータに設定し、SmartHR上の社員データを取得。社員情報の有無をチェックするため、ヘッダにtotal-countを設定		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	emp_code	\${emp_id}
	fields	id
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	[{ "id": "" }]	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	x-total-count	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
set_id 		
コンポーネント概要		
スクリプト変数id, total_countにレスポンスデータを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_id/root/element/id	単純移送	スクリプト変数/id
コンポーネント変数/get_id/x-total-count	単純移送	スクリプト変数/total_count

コンポーネント名		
get_dept_id 		
コンポーネント概要		
部署コードが格納されたスクリプト変数department_codeをパラメータに設定し、SmartHR上の部門データを取得		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/departments	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	code	\${department_code}

レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>[{ "id": "", "name": "", "full_name": "", "position": 2, "code": "", "parent": { "id": "", "name": "", "full_name": "", "position": 1, "code": "", "parent": { "id": "", "name": "", "full_name": "", "position": 0, "code": "", "parent": null } } }, { "children": null, "updated_at": "", "created_at": "" }]</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	

ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
set_dept_id 		
コンポーネント概要		
スクリプト変数department_idにレスポンスデータを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_dept_id/root/element/id	単純移送	department_id

コンポーネント名	
if_exist 	
コンポーネント概要	
スクリプト変数total_countが0であるか判定	
必須設定	
条件式	変数 total_count が 0 と等しい

IF文の分岐

コンポーネント名		
mapping(2) 		
コンポーネント概要		
1件ずつ取得した社員情報データをSmartHRに登録するためにセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員番号	単純移送	出力データ/post_crews/root/emp_code
入力データ/foreach_emp_id/table/row/メールアドレス	単純移送	出力データ/post_crews/root/email
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (姓)	単純移送	出力データ/post_crews/root/last_name
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (名)	単純移送	出力データ/post_crews/root/first_name
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (仮名) (姓)	ひらがな→カタカナロジック	出力データ/post_crews/root/last_name_yomi
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (仮名) (名)	ひらがな→カタカナロジック	出力データ/post_crews/root/first_name_yomi
入力データ/foreach_emp_id/table/row/戸籍上の性別	文字列ごとに置換ロジック (変換テーブル)	出力データ/post_crews/root/gender
入力データ/foreach_emp_id/table/row/生年月日	単純移送	出力データ/post_crews/root/birth_at
入力データ/foreach_emp_id/table/row/在籍ステータス	文字列ごとに置換ロジック (変換テーブル)	出力データ/post_crews/root/emp_status
入力データ/foreach_emp_id/table/row/雇用保険の被保険者番号	左文字列ロジック (4)	連結ロジック (1)
	単一行文字列定数ロジック (-)	連結ロジック (2)、連結ロジック (4)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/雇用保険の被保険者番号	右文字列ロジック (7)	左文字列ロジック (6)
右文字列ロジック (7)	左文字列ロジック (6)	連結ロジック (3)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/雇用保険の被保険者番号	右文字列ロジック (1)	連結ロジック (5)
	連結ロジック (5)	出力データ/post_crews/root/emp_ins_insured_person_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/厚生年金保険の被保険者番号	右文字列ロジック (7)	数値に変換ロジック
	数値に変換ロジック	出力データ/post_crews/root/soc_ins_insured_person_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/健康保険の被保険者番号	右文字列ロジック (7)	数値に変換ロジック
	数値に変換ロジック	出力データ/post_crews/root/hel_ins_insured_person_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/基礎年金番号	左文字列ロジック (4)	連結ロジック (1)
	単一行文字列定数ロジック (-)	連結ロジック (2)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/基礎年金番号	右文字列ロジック (6)	連結ロジック (3)
	連結ロジック (3)	出力データ/post_crews/root/basic_pension_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/役職	単純移送	出力データ/post_crews/root/positions/element
入力データ/foreach_emp_id/table/row/入社年月日	単純移送	出力データ/post_crews/root/entered_at
入力データ/foreach_emp_id/table/row/退職年月日	単純移送	出力データ/post_crews/root/resigned_at
入力データ/foreach_emp_id/table/row/住所1	単純移送	出力データ/post_crews/root/address/pref
入力データ/foreach_emp_id/table/row/住所2	単純移送	出力データ/post_crews/root/address/city
入力データ/foreach_emp_id/table/row/住所3	単純移送	出力データ/post_crews/root/address/street
入力データ/foreach_emp_id/table/row/電話番号	単純移送	出力データ/post_crews/root/tel_number
	単一行文字列定数ロジック (object)	出力データ/post_crews/root/type
	単一行文字列定数ロジック (object)	出力データ/post_crews/root/address/type
	単一行文字列定数ロジック (array)	出力データ/post_crews/root/positions/type
	単一行文字列定数ロジック (array)	出力データ/post_crews/root/department_ids/type
スクリプト変数/department_id	単純移送	出力データ/post_crews/root/department_ids/element

コンポーネント名		
post_crews 		
コンポーネント概要		
社員情報をSmarrHRに登録		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	なし	なし
リクエスト設定		
データ入力元	データ	
データ入力元形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "emp_code": "", "emp_status": "", "last_name": "", "first_name": "", "last_name_yomi": "", "first_name_yomi": "", "birth_at": "", "gender": "", "tel_number": "", "address": { "pref": "", "city": "", "street": "" }, "email": "", "positions": ["", "", ""], "entered_at": "", "resigned_at": "", "emp_ins_insured_person_number": "", "soc_ins_insured_person_number": "", "hel_ins_insured_person_number": "", "basic_pension_number": "", "department_ids": ["id", "", ""] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート		
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

IF文のelse

コンポーネント名		
mapping(1)		
		
コンポーネント概要		
1件ずつ取得した社員情報データをSmarterHRに登録するためにセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員番号	単純移送	出力データ/post_crews/root/emp_code
入力データ/foreach_emp_id/table/row/メールアドレス	単純移送	出力データ/post_crews/root/email
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (姓)	単純移送	出力データ/post_crews/root/last_name
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (名)	単純移送	出力データ/post_crews/root/first_name
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (仮名) (姓)	ひらがな→カタカナロジック	出力データ/post_crews/root/last_name_yomi
入力データ/foreach_emp_id/table/row/社員名 (仮名) (名)	ひらがな→カタカナロジック	出力データ/post_crews/root/first_name_yomi
入力データ/foreach_emp_id/table/row/戸籍上の性別	文字列ごとに置換ロジック (変換テーブル)	出力データ/post_crews/root/gender
入力データ/foreach_emp_id/table/row/生年月日	単純移送	出力データ/post_crews/root/birth_at
入力データ/foreach_emp_id/table/row/在籍ステータス	文字列ごとに置換ロジック (変換テーブル)	出力データ/post_crews/root/emp_status
入力データ/foreach_emp_id/table/row/雇用保険の被保険者番号	左文字列ロジック (4)	連結ロジック (1)
	単一行文字列定数ロジック (-)	連結ロジック (2)、連結ロジック (4)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/雇用保険の被保険者番号	右文字列ロジック (7)	左文字列ロジック (6)
右文字列ロジック (7)	左文字列ロジック (6)	連結ロジック (3)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/雇用保険の被保険者番号	右文字列ロジック (1)	連結ロジック (5)
	連結ロジック (5)	出力データ/post_crews/root/emp_ins_insured_person_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/厚生年金保険の被保険者番号	右文字列ロジック (7)	数値に変換ロジック
	数値に変換ロジック	出力データ/post_crews/root/soc_ins_insured_person_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/健康保険の被保険者番号	右文字列ロジック (7)	数値に変換ロジック
	数値に変換ロジック	出力データ/post_crews/root/hel_ins_insured_person_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/基礎年金番号	左文字列ロジック (4)	連結ロジック (1)
	単一行文字列定数ロジック (-)	連結ロジック (2)
入力データ/foreach_emp_id/table/row/基礎年金番号	右文字列ロジック (6)	連結ロジック (3)
	連結ロジック (3)	出力データ/post_crews/root/basic_pension_number
入力データ/foreach_emp_id/table/row/役職	単純移送	出力データ/post_crews/root/positions/element
入力データ/foreach_emp_id/table/row/入社年月日	単純移送	出力データ/post_crews/root/entered_at
入力データ/foreach_emp_id/table/row/退職年月日	単純移送	出力データ/post_crews/root/resigned_at
入力データ/foreach_emp_id/table/row/住所1	単純移送	出力データ/post_crews/root/address/pref
入力データ/foreach_emp_id/table/row/住所2	単純移送	出力データ/post_crews/root/address/city
入力データ/foreach_emp_id/table/row/住所3	単純移送	出力データ/post_crews/root/address/street
入力データ/foreach_emp_id/table/row/電話番号	単純移送	出力データ/post_crews/root/tel_number
	単一行文字列定数ロジック (object)	出力データ/post_crews/root/type
	単一行文字列定数ロジック (object)	出力データ/post_crews/root/address/type
	単一行文字列定数ロジック (array)	出力データ/post_crews/root/positions/type
	単一行文字列定数ロジック (array)	出力データ/post_crews/root/department_ids/type
スクリプト変数/department_id	単純移送	出力データ/post_crews/root/department_ids/element

コンポーネント名		
patch_crews		
		
コンポーネント概要		
社員情報でSmarHRを更新		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews/\${id}	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	なし	なし
リクエスト設定		
データ入力元	データ	
データ入力元形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "emp_code": "", "emp_status": "", "last_name": "", "first_name": "", "last_name_yomi": "", "first_name_yomi": "", "birth_at": "", "gender": "", "tel_number": "", "address": { "pref": "", "city": "", "street": "" }, "email": "", "positions": ["", "", ""], "entered_at": "", "resigned_at": "", "emp_ins_insured_person_number": "", "soc_ins_insured_person_number": "", "hel_ins_insured_person_number": "", "basic_pension_number": "", "department_ids": ["id", "", ""] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート		
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定_SmartHR側」を設定します
2. 「コネクション設定_HULFT Square側」を設定します
3. 本アプリケーションをインストールします
4. スクリプト変数の初期値を入力
 - ・ tokenを入力
5. コンポーネント「get_id」「get_dept_id」「post_crews」「patch_crews」の接続先を設定
 - ・ 「必須設定」の「接続先」を設定
6. ファイル「社員情報サンプル.csv」を準備
7. スクリプトを実行します

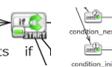
スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
delete	
 delete	
コンポーネント概要	
前回実行時に作成したエラーリストCSVファイルを削除	
必須設定	
ファイル	{利用するワークスペース名}/smarthr/smarthr/fluid_error_list.csv
削除オプション	
強制削除しない	有効
ファイル/ディレクトリが存在しない場合はエラー	無効

コンポーネント名	
read_origin_data	
 read_origin_data	
コンポーネント概要	
更新元のCSVファイルを読み込み	
必須設定	
ファイル	{利用するワークスペース名}/smarthr/fluid_origin.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code, custom_field_id, field_name, update_value
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	有効

コンポーネント名	
foreach	
 ta foreach	
コンポーネント概要	
更新元データ件数分繰り返し	
必須設定	
入力データ	read_origin_data
1ループでの処理件数	1

コンポーネント名		
keep_flagments		
 keep_flagments		
コンポーネント概要		
スクリプト変数emp_code、custom_field_id、update_valueに更新元データを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
foreach_emp_id/table/row/emp_code	単純移送	スクリプト変数/emp_code
foreach_emp_id/table/row/custom_field_id	単純移送	スクリプト変数/custom_field_id
foreach_emp_id/table/row/update_value	単純移送	スクリプト変数/update_value

コンポーネント名	
if / condition_init , condition_next	
 ts if	
コンポーネント概要	
emp_codeとforward_codeの関係で分岐処理	
必須設定	
条件式 (condition_next)	変数 emp_code が 変数 forward_code と等しい
(condition_init)	変数 forward_code が 'initialized' と等しい

if : condition_init

コンポーネント名		
create_first_flagments		
 create_first_flagments		
コンポーネント概要		
スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込みにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数/custom_field_id	単純移送	出力データ/write_flagments/table/row/custom_field_id
スクリプト変数/update_value	単純移送	出力データ/write_flagments/table/row/update_value

コンポーネント名	
write_first_flagments  write_first_flagments	
コンポーネント概要	
スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、update_value
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	有効
追加書き込み	無効
1行目に列名を挿入	無効
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効

if : condition_next

コンポーネント名	
create_more_flagments  create_more_flagments	
コンポーネント概要	
スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込みにマッピング	
HULFT Square mapper エディタ	
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値) 出力先 (出力データ)
スクリプト変数/custom_field_id	単純移送 出力データ/write_flagments/table/row/custom_field_id
スクリプト変数/update_value	単純移送 出力データ/write_flagments/table/row/update_value

コンポーネント名	
write_more_flagments  write_more_flagments	
コンポーネント概要	
スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、update_value
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	有効
追加書き込み	有効
1行目に列名を挿入	無効
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効

else

コンポーネント名		
get_id		
		
コンポーネント概要		
社員番号が格納されたスクリプト変数emp_idをパラメータに設定し、SmartHR上の社員データを取得		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	emp_code	\${forward_code}
	fields	id
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>[{ "id": "" }]</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
set_id		
		
コンポーネント概要		
スクリプト変数idにレスポンスデータを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_id/root/element/id	単純移送	スクリプト変数/id

コンポーネント名		
read_flagments		
		
コンポーネント概要		
更新元データの一つの社員番号における更新すべきカスタム項目のidと更新内容のリストCSVを読み込		
必須設定		
ファイル	/{利用するワークスペース名}/smarthr/fluid_flagments.csv	
デリミタ文字	半角カンマ	
列一覧	custom_field_id, update_value	
読み取り設定		
エンコード	UTF-8	
読み取り開始行	1	
最初の行は値として取得しない	無効	

コンポーネント名		
collection_fragments		
		
コンポーネント概要		
update_member_fluidのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/read_flagments/table/row	単純な繰り返し	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element
入力データ/read_flagments/table/row/custom_field_id	単純移送	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/template_id
入力データ/read_flagments/table/row/update_value	単純移送	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/value
	単一行文字列定数 (object)	出力データ/update_member_fluid/root/type
	単一行文字列定数 (array)	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/type
	単一行文字列定数 (object)	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/type

コンポーネント名		
update_member_fluid		
		
コンポーネント概要		
SmartHRの社員情報のカスタム項目をrequest bodyで更新		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews/{fid}	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	なし	なし
リクエスト設定		
データ入力元	データ	
データ入力元形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "custom_fields": [{ "template_id": , "value": "string" }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート		
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
error_if / error_if , init_error		
		
コンポーネント概要		
update_member_fluid:status_codeで分岐処理		
必須設定		
条件式 (invalid_error)	変数 update_member_fluid:status_code が 400 と等しいまたは 変数 update_member_fluid:status_code が 403 と等しいまたは 変数 update_member_fluid:status_code が 405 と等しい	
(init_error)	変数 update_member_fluid:status_code が 401 と等しいまたは 変数 update_member_fluid:status_code が 404 と等しい	

if : invalid_error		
コンポーネント名		
error_mapping		
		
コンポーネント概要		
update_member_fluid処理のエラー内容をCSV書き込みにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/update_member_fluid/root/message	単純移送	出力データ/write_error/table/row/error_description
スクリプト変数/forward_code	単純移送	出力データ/write_error/table/row/emp_code

コンポーネント名	
write_error 	
コンポーネント概要	
update_member_fluid処理のエラー内容をCSV書き込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/fluid_error_list.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code、error_description
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	有効
追加書き込み	有効
1行目に列名を挿入	無効
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効

if : init_error

コンポーネント名	
exception 	
コンポーネント概要	
update_member_fluid処理のエラーを通知	
必須設定	
メッセージ	API利用のためのパラメータ値が不正(token)

コンポーネント名		
create_flagments 		
コンポーネント概要		
スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込みにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数/custom_field_id	単純移送	出力データ/write_flagments/table/row/custom_field_id
スクリプト変数/forward_code	単純移送	出力データ/write_flagments/table/row/update_value

コンポーネント名	
write_flagments 	
コンポーネント概要	
スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、update_value
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	有効
追加書き込み	無効
1行目に列名を挿入	無効
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効

コンポーネント名		
keep_forward_code 		
コンポーネント概要		
スクリプト変数forward_codeにスクリプト変数emp_codeの値をセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数/emp_code	単純移送	スクリプト変数/forward_code

コンポーネント名 last_get_id 		
コンポーネント概要 社員番号が格納されたスクリプト変数emp_idをパラメータに設定し、SmartHR上の社員データを取得		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	emp_code	\${forward_code}
	fields	id
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>[{ "id": "" }]</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名 last_set_id 		
コンポーネント概要 スクリプト変数idにレスポンスデータを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_id/root/element/id	単純移送	スクリプト変数/id

コンポーネント名 read_last_flagments 		
コンポーネント概要 更新元データの一つの社員番号における更新すべきカスタム項目のidと更新内容のリストCSVを読み		
必須設定		
ファイル	/{利用するワークスペース名}/smarthr/fluid_flagments.csv	
デリミタ文字	半角カンマ	
列一覧	custom_field_id, update_value	
読み取り設定		
エンコード	UTF-8	
読み取り開始行	1	
最初の行は値として取得しない	無効	

コンポーネント名		
collection_last_flagments		
		
コンポーネント概要		
update_member_fluidのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/read_flagments/table/row	単純な繰り返し	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element
入力データ/read_flagments/table/row/custom_field_id	単純移送	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/template_id
入力データ/read_flagments/table/row/update_value	単純移送	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/value
	単一行文字列定数 (object)	出力データ/update_member_fluid/root/type
	単一行文字列定数 (array)	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/type
	単一行文字列定数 (object)	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/type

コンポーネント名		
update_member_fluid_last		
		
コンポーネント概要		
SmartHRの社員情報のカスタム項目をrequest bodyで更新		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews/{fid}	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	なし	なし
リクエスト設定		
データ入力元	データ	
データ入力元形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "custom_fields": [{ "template_id": , "value": "string" }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート		
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
error_if_last / invalid_error_last , init_error_last		
		
コンポーネント概要		
emp_codeとforward_codeの関係で分岐処理		
必須設定		
条件式 (invalid_error_last)	変数 update_member_fluid:status_code が 400 と等しいまたは 変数 update_member_fluid:status_code が 403 と等しいまたは 変数 update_member_fluid:status_code が 405 と等しい	
(init_error_last)	変数 update_member_fluid:status_code が 401 と等しいまたは 変数 update_member_fluid:status_code が 404 と等しい	

if : invalid_error_last		
コンポーネント名		
error_mapping_last		
		
コンポーネント概要		
update_member_fluid_last処理のエラー内容をCSV書き込みにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/update_member_fluid_last/root/message	単純移送	出力データ/write_error_last/table/row/error_description
スクリプト変数/emp_code	単純移送	出力データ/write_error_last/table/row/emp_code

コンポーネント名	
write_error_last  write_error	
コンポーネント概要	
update_member_fluid_last処理のエラー内容をCSV書き込み	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/smarthr/fluid_error_list.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code、error_description
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	有効
追加書き込み	有効
1行目に列名を挿入	無効
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効

if : init_error_last

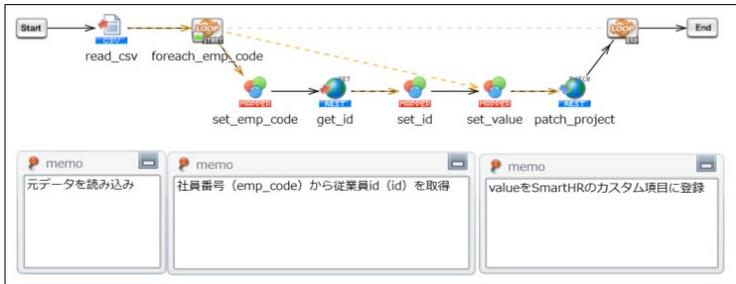
コンポーネント名	
exception_last  exception	
コンポーネント概要	
update_member_fluid_last処理のエラーを通知	
必須設定	
メッセージ	API利用のためのパラメータ値が不正(token)

スクリプト利用手順

- 「コネクション設定_SmarthR側」を設定します
- 「コネクション設定_HULFT Square側」を設定します
- 本アプリケーションをインストールします
- スクリプト変数の初期値を入力します
 - ・ tokenを入力
 - ・ forward_codeにinitializedを入力
- コンポーネント「get_id」「upate_member_fluid」「last_get_id」「upate_member_fluid_last」の接続先を設定
 - ・ 「必須設定」の「接続先」を設定
- ファイル「fluid_origin.csv」を準備、利用ストレージに配置
- コンポーネント「read_origin_data」の読み取りファイルを設定
 - ・ fluid_origin.csvを設定
- コンポーネント「write_first_flagments」の書き込みファイルを設定
 - ・ 「write_more_flagments」「write_flagments」の書き込みファイルを「write_first_flagments」と同一に設定
 - ・ 「read_flagments」「read_last_flagments」の読み取りファイルを「write_first_flagments」と同一に設定
- コンポーネント「write_error」「write_error_last」の書き込みファイルを設定
- スクリプトを実行します

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(patch_crew_cf)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

CSVファイルを読み取り、指定のSmartHRカスタム項目を更新する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
格納プロジェクト名	
格納フォルダ名	
スクリプト名	smarthr_patch_crew_cf

外部システムから取り込む値/ファイル

ファイル「custom_field.csv」	項目「emp_code」「value」のリスト
------------------------	-------------------------

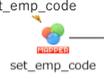
スクリプト変数

token	SmartHRから取得したアクセストークン
emp_code	ファイル「read_csv.csv」より取得
id	コンポーネント「get_id」より取得
cf_id	初期値にカスタム項目IDを入力

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
read_csv	
read_csv	
コンポーネント概要	
更新元のCSVファイルを読み込み	
必須設定	
ファイル	/{利用するワークスペース名}/smarthr/custom_field.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code, value
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	有効

コンポーネント名	
foreach_emp_code	
foreach_emp_code	
コンポーネント概要	
更新元データ件数分繰り返し	
必須設定	
入力データ	read_csv
1ループでの処理件数	1

コンポーネント名		
set_emp_code 		
コンポーネント概要		
社員番号を変数emp_idにセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
foreach_emp_id/table/row/emp_code	単純移送	スクリプト変数/emp_id

コンポーネント名		
get_id 		
コンポーネント概要		
社員番号が格納されたスクリプト変数emp_idをパラメータに設定し、SmartHR上の社員データを取得		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	emp_code	\${emp_code}
	fields	id
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	[{ "id": "" }]	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	無効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
set_id 		
コンポーネント概要		
スクリプト変数idにレスポンスデータを反映		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_id/root/element/id	単純移送	スクリプト変数/id

コンポーネント名		
set_value		
		
コンポーネント概要		
patch_cfのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/read_flagments/table/row/value	単純移送	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/value
スクリプト変数/cf_id	単純移送	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/template_id
	単一行文字列定数 (object)	出力データ/update_member_fluid/root/type
	単一行文字列定数 (array)	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/type
	単一行文字列定数 (object)	出力データ/update_member_fluid/root/custom_fields/element/type

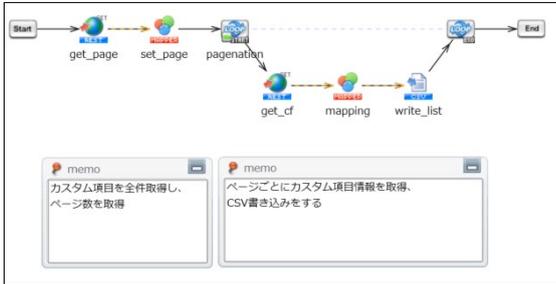
コンポーネント名		
patch_cf		
		
コンポーネント概要		
SmartHRの社員情報のカスタム項目をrequest bodyで更新		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crews/\${id}	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	なし	なし
リクエスト設定		
データ入力元	データ	
データ入力元形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "custom_fields": [{ "template_id": , "value": "string" }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート		
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

スクリプト利用手順

- 「コネクション設定_SmartHR側」を設定します
- 「コネクション設定_HULFT Square側」を設定します
- 本アプリケーションをインストールします
- スクリプト変数の初期値を入力します
 - tokenを入力
 - cf_idにカスタム項目のtempate_idを入力
- コンポーネント「get_id」「patch_cf」の接続先を設定
 - 「必須設定」の「接続先」を設定
- ファイル「custom_field.csv」を準備、利用ストレージに配置
- コンポーネント「read_csv」の読み取りファイルを設定
- スクリプトを実行します

SmartHR向けHULFT Squareアプリケーション
 スクリプト設定(get_custom_fields_pagination)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

SmartHRのカスタム項目リストを取得、CSVファイルに出力する

*以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
格納プロジェクト名	
格納フォルダ名	
スクリプト名	smarthr_get_custom_fields_pagination

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	
----	--

スクリプト変数

token	SmartHRから取得したアクセストークン
page	取得するページ。初期値：1
total_page	カスタム項目データが存在する総ページ

スクリプト詳細設定

コンポーネント名 get_page 		
コンポーネント概要 SmartHRカスタム項目リストのページ数を取得する		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crew_custom_field_templates	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	なし	なし
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>[{ "id": "", "name": "", "type": "", "elements": "", "group_id": "", "hint": "", "scale": "", "separated_by_commas": "", "position": "", "updated_at": "", "created_at": "" }]</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	x-per-page	
	x-total-count	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	
コンポーネント名 set_page 		
コンポーネント概要 総ページ数を計算しスクリプト変数total_pageにセット HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
コンポーネント変数/get_page/x-per-page	割り算ロジック (入力数: 2、有効桁数: 1)	
コンポーネント変数/get_page/x-total-count	割り算ロジック (入力数: 2、有効桁数: 1)	
割り算ロジック (入力数: 2、有効桁数: 1)	切り上げロジック (0)	スクリプト変数/total_page
コンポーネント名 pagination 		
コンポーネント概要 ページ分処理を繰り返す		
必須設定		
繰り返し回数	\${total_page}	

コンポーネント名		
get_cf 		
コンポーネント概要		
SmarTHRカスタム項目リストを取得		
必須設定		
接続先	コネクション設定	
パス	v1/crew_custom_field_templates	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
	page	\${page}
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>[{ "id": "", "name": "", "type": "", "elements": "", "group_id": "", "hint": "", "scale": "", "separated_by_commas": "", "position": "", "updated_at": "", "created_at": "" }]</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	なし	なし
レスポンスヘッダ	なし	
認証設定		
認証設定	ベーシック認証	
ユーザ	\${token}	
パスワード	なし	

コンポーネント名		
mapping 		
コンポーネント概要		
レスポンスデータをCSV出力用にデータセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_cf/root/element	単純な繰り返し	出力データ/write_list/table/row
入力データ/get_cf/root/element/id	単純移送	出力データ/write_list/table/row/id
入力データ/get_cf/root/element/name	単純移送	出力データ/write_list/table/row/name
スクリプト変数/page	足し算ロジック (2)	
	数値定数 (1)	足し算ロジック (2)
	足し算ロジック (2)	スクリプト変数/page

コンポーネント名		
write_list 		
コンポーネント概要		
カスタム項目リストをCSVファイルに書き込み		
必須設定		
ファイル	/{利用するワークスペース名}/smarthr/custom_field_list.csv	
デリミタ文字	半角カンマ	
列一覧	id, name	
書き込み設定		
エンコード	UTF-8	
改行コード	CR+LF	
上書き	有効	
追加書き込み	有効	
1行目に列名を挿入	無効	
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	無効	

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定_SmarHR側」を設定します
2. 「コネクション設定_HULFT Square側」を設定します
3. 本アプリケーションをインストールします
4. スクリプト変数の初期値を入力します
 - ・ tokenを入力
5. コンポーネント「write_list」の書き込みファイルを設定
6. スクリプトを実行します